

3月の予定

2015年2月12日
野毛山幼稚園

主 題	わすれない ーこれからともにー
ね が い	新しい生活へ安心して向かおうとする 神さまのお守りの中で、大きくなったことを感謝する 震災にあった人々のことを覚え祈る

聖句

羊飼いは自分の羊の名を呼んで連れ出す。自分の羊をすべて連れ出すと、先頭に立って行く。羊はその声を聞いていたので、ついて行く。

ヨハネによる福音書10章3~4節

今年は羊年。

羊は聖書の中に500回以上も出てくる大切な動物です。羊はとても弱い動物で、自分で身を守ることができません。イスラエルの国の人たちは、昔から羊を飼っていて毎日羊を牧草に連れて行き、オオカミなど強い動物から羊を守るため、いつも羊から目を離すことはありません。もし、一匹でも羊がいなくなったら大変です。羊飼いは、命がけて羊を捜します。羊飼いは、自分の羊一匹一匹を知っていて、たくさん羊の中から自分の羊を見つけることもできます。イエスさまは、「わたしはよい羊飼いです」と言われました。わたしたちはイエスさまの羊です。よい羊飼いが羊のことを命がけて守るように、イエスさまは私達を罪から救うために十字架にかかってくださいました。また、羊飼いが羊のことを知っているようにイエスさまは私達ひとりひとりのことをよく知っていてくださいます。いつでも一緒にいて、どんな時も正しい神さまの道へと導いてくださるのです。私達が迷い、悩む時、イエスさまは私達に声をかけてくださいます。私達はイエスさまの声を聞き分けることができるでしょうか。どんな時にも迷わずにイエスさまについていきましょう。

もうすぐ卒園・修了を迎えます。子どもたちはそれぞれに成長しました。子どもたち一人ひとりにはそれぞれのさまざまなエピソードがあります。いつも元気でいい時ばかりではなく、時には嫌なことやつらいことがあったかもしれませんが、そのことを受け止め、乗り越えながら過ごしてきました。子どもたちの中には困難を自然に解決していく力があります。けれどもそこには、目には見えませんが、確かに守り導いてくださる神さまの存在がいつもあります。卒園するチューリップさんは、それぞれ小学校に進学しますが、キリスト教主義の小学校ではなく公立の小学校へ入学する園児がほとんどです。しかし、いつでも、どこに行っても、神さまは共にいてくださいます。

「インマヌエル」を忘れずにいてほしいと思います。

予 定

日	曜	予 定	備 考
3	火	誕生会	火曜日ですが午前中保育です
4	水	ひなまつり	ランチあり
10	火	わくわく音楽会	
11	水	おにぎり・水筒持参	園児1時降園
13	金	サンドイッチパーティー	
17	火	感謝礼拝・お別れ会	全園児親子
		卒園祝賀パーティー	チューリップ組親子
18	水	第64回 卒園式	年中、年少組は休園
19	木	第三学期修了式	

ランチ

16日(月)まで

こひつじ

16日(月)まで



年 長 (チューリップ組)	年 中 (ひまわり組)	年 少 (もみじ組)
<p>大きくなったことを感じ、まわりの人たちに感謝の気持ちを持つ。</p> <p>ひとりひとりが自分なりの目標を持ち、それに向かって最後までやりとげようとする。</p> <p>友だち同士、お互いの考えを出し合い、受け入れてあそびを深めていく。</p> <p>幼稚園生活を思い起こし、卒園に向けての準備をする。</p> <p>友だちのがんばりや、良いところを認めあったり、友だちの成功を喜ぶ。</p> <p>お世話になった人たちへありがとうの気持ちを持つ。</p> <p>小学校に対する期待を持ち、残りの幼稚園生活を見通しをもって進める。</p> <p>神さまとたくさんの人に守られて大きくなったことを感謝する。</p> <p>さまざまなことに目を向けて、気づく心を持つ。</p> <p>春が近いことを知る。</p>	<p>大きくなったことを感じ、まわりの人たちに感謝の気持ちを持つ。</p> <p>自分の考えたこと、感じたことを身体やことばで表現する。</p> <p>思いきり身体を動かして遊ぶ。</p> <p>みんなで一緒に活動することの楽しさを知る。</p> <p>年長組になることに期待を持ち準備していく。</p> <p>たくさんの友だちと接し、交友関係を広げていく。</p> <p>木の芽などの変化を見ながら、春が近いのを知る。</p> <p>年長さんへお祝いの気持ちをこめてプレゼントを作ったりする。</p>	<p>大きくなったことを感じ、まわりの人たちに感謝の気持ちを持つ。</p> <p>思いきり身体を動かして遊ぶ。</p> <p>友だちとごっこあそびを楽しむ。</p> <p>もうすぐ、年中組になることがわかる。</p> <p>楽しく歌ったり、聴いたりする。</p> <p>暖かくなってきていることを感じ、木の芽などの変化を見ながら、春が近いのを知る。</p>